

7-11

養護老人ホームにおける個別支援策定の取り組み

的確なニーズの把握と着実な計画実行

個別性
モニタリング

養護老人ホーム 吉祥寺老人ホーム

生活相談員 石井 陽子

生活相談員 青柳 陽子

東京都武蔵野市吉祥寺北町2-9-2

TEL 0422-20-0873

E-mai : kjjishii.youko@kichijoji-home.com

FAX 0422-20-0904

URL: <http://www.kichijoji-home.com/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

私共の養護老人ホームは、全室個室で130名定員です。平成6年12月の開設。当初は、都立施設としての公設民営として社会福祉法人至誠学舎東京が運営を行っていましたが平成16年4月より法人立施設となりました。

〈取り組んだ課題〉

- 養護老人ホーム独特の生活支援ニーズに対するアセスメント方法
- 個別支援ニーズへの的確な支援とモニタリングのシステムの構築
- 支援に対する根拠を明確にする

〈具体的な取り組み〉

- 生活相談員と生活支援員が連携アセスメント書式を作成
- 従来の担当制に加えて副担当制を用いて職員2名体制のケース割りを行った
- 利用者全員の再アセスメントを行った
 - ・ 課題の抽出
 - ・ 長期、短期目標の設定
 - ・ 支援内容設定
- モニタリングの設定
 - ・ 主担当による3ヶ月ごとのケース見直し
 - ・ 半年に1回ケース検討会議の実施
 - ・ 状態変化が生じた時点での見直し

〈活動の成果と評価〉

- アセスメントシートの使用により養護独特の生活支援課題の抽出が容易になった
- 援助計画の個別化が図ることができた
- 職員全員が共通認識を持って統一した支援を行うことができる
- 適宜、評価することで状態変化に応じた支援内容変更がスムーズに行えるようになった。合わせて支援内容も変更しやすい書式に仕上がった
- 積極的にカンファレンスを開催することで職員のスキルアップにつながった
- 今年度よりグループウェアを用いることで情報の共有化が図れた

〈今後の課題〉

- 利用者の特性を踏まえながらICFの観点を取り入れる